

□ キーワード：関数のグラフ

関数のグラフ

関数 $y = f(x)$ のグラフとは、 $y = f(x)$ を満たす点 $(x, f(x))$ 集まりである。

- $y = f(x - p) + q$ のグラフは $y = f(x)$ のグラフを x 軸方向に $+p$, y 軸の方向に $+q$, 平行移動したものである。
- $y = f(-x)$ のグラフと $y = f(x)$ のグラフは y 軸に関して対称である。
- $y = -f(x)$ のグラフと $y = f(x)$ のグラフは x 軸に関して対称である。
- 関数 $f(x), g(x)$ は次の性質を満たすとする；

$b = f(a)$ を満たすすべての (a, b) に対して $g(b) = a$ が成り立つ。

このとき、 $y = f(x)$ のグラフと $y = g(x)$ のグラフは $y = x$ に関して対称である。